

## GO Next Driven.

## 第101期中間 株主通信

2023年4月1日から2023年9月30日まで

## バンダー化学株式会社

証券コード：5195

## 2023年度 第2四半期の連結業績ハイライト

詳細はホームページに掲載されている情報をご覧ください。  
<https://www.bandogrp.com/ir/>

## 売上収益

53,927百万円

前年同期比 3.3%増

## コア営業利益

3,758百万円

前年同期比 3.0%増

## 親会社の所有者に帰属する四半期利益

3,671百万円

前年同期比 2.9%増

## 事業別の概況

## 自動車部品事業

売上収益	26,270百万円	前年同期比	9.5%増
セグメント利益	1,820百万円	前年同期比	18.6%増

- 国内では、自動車生産台数の回復にともない、補機駆動用伝動ベルト（リブエース®など）の販売が増加。
- 海外では、中国において補機駆動用伝動ベルトなどの販売が増加し、欧米においても補修市場向け製品の販売が増加。アジア地域においても、四輪・二輪車メーカーの生産が回復傾向にあり、補機駆動用伝動ベルト、補機駆動用伝動システム製品およびスクーター用変速ベルトなどの販売が増加。

## 産業資材事業

売上収益	18,518百万円	前年同期比	0.4%減
セグメント利益	1,896百万円	前年同期比	0.1%減

- 伝動ベルトは、国内では、民間設備投資の減少により産業機械用伝動ベルトの販売が減少。海外では、欧米において産業機械用伝動ベルトの販売が増加したものの、中国・アジアにおいて農業機械用伝動ベルトの販売が減少。
- 運搬ベルトは、国内においてコンベヤベルトおよび樹脂コンベヤベルト（サンライン®ベルト）の販売が増加。

## 高機能エラストマー製品事業

売上収益	6,932百万円	前年同期比	8.1%減
セグメント損失	76百万円	前年同期はセグメント利益	241百万円

- 機能フィルム製品は、国内における非住宅関連の需要停滞もあり、建築資材用および装飾表示用フィルムの販売が減少。
- 精密機能部品は、高機能ローラおよびブレードなどの販売が減少。

## その他事業

売上収益	2,634百万円	前年同期比	7.6%増
セグメント損失	47百万円	前年同期はセグメント損失	12百万円

- その他事業では、ロボット関連デバイス事業、電子資材事業および医療機器事業などを展開。売上収益は増加したものの、セグメント損失が発生。

## 2023年度 通期の連結業績見通し

## 売上収益

105,000百万円

前年同期比 1.3%増

## コア営業利益

7,500百万円

前年同期比 11.4%増

## 親会社の所有者に帰属する当期利益

6,300百万円\*

前年同期比 10.1%増

\*通期の想定レートを1米ドル130円から140円に見直したことなどにより、親会社の所有者に帰属する当期利益の予想を従来予想の6,000百万円から6,300百万円に修正しています。



代表取締役社長  
**植野 富夫**

## 持続的な企業価値向上に向けた 取り組みを進めてまいります

株主の皆様には、日頃は格別のご高配にあずかり、心より御礼申し上げます。第101期中間株主通信をお届けするにあたり、謹んでご挨拶申し上げます。

当社グループを取り巻く外部環境は、新型コロナウイルス感染症の影響は収束に向かったものの、各国の金融政策の影響などによる為替、

物価、原材料価格の動向のほか、ウクライナ情勢をはじめとする地政学的な問題など、不確実性が高い状況が続いております。

このような状況のなか、当社グループは、中長期経営計画“Creating New Value for the Future”の第1ステージにおいて、「価値創造」、「スマートものづくり

## TOPICS

2023年  
4月

- 「バンドーグループ人権方針」を策定

5月

- 低騒音性に優れた物流搬送用ベルト「ミスターポーターズ®」を販売開始
- 株主還元方針の変更に関するお知らせを発表
- TCFD提言への賛同表明および情報開示を実施
- 国際的な評価機関であるEcoVadis社のサステナビリティ評価で「シルバー」を獲得

6月

- 世界最大級の食品製造総合展「FOOMA JAPAN 2023」に出展
- 「第68回日本透析医学会学術集会・総会」に出展

7月

- 「製品・技術情報サイト」を公開
- ESG総合型指数「FTSE Blossom Japan Index」の構成銘柄に初選定

8月

- 「食べる機能の測定会」を開催
- 「サステナビリティレポート2023」を発行

## 特集

### 中長期経営計画 「Creating New Value for the Future」始動 指針1「価値創造」の取り組み

当年度からスタートした中長期経営計画“Creating New Value for the Future”の第1ステージ(CV-1)では、指針1に「価値創造」を掲げています。「共創」を軸に前中長期経営計画で推進した新規事業の進化とコア事業の深化を加速させた両輪の取り組みによって、人の暮らしや地球環境にやさしい、社会課題を解決する製品やサービスを提供することで、新たな価値創造に当社グループ一丸となって取り組んでいます。

#### 新生骨再生が期待される吸収性骨再生用材料 「e=Bone®」(イーボーン)を販売開始

当社グループが有する基盤技術を活かし、産学連携で骨形成活性をコンセプトとした人工骨に関する共同研究を行い、吸収性骨再生用材料「e=Bone®」(イーボーン)を開発し、2023年4月から販売を開始しました。プラズマ技術を用い、細胞接着の効果が実証されているアミノ基の構成成分である窒素を人工骨表面に修飾しており、これまでの人工骨と異なり、体内に埋植後、新生骨の形成作用が期待される製品です。

超高齢化が加速化している日本において、治療期間の短縮は急務の課題であり、骨形成を促進する作用を有する人工骨が開発できれば、早期の骨癒着が可能となり、早い段階でのリハビリの開始、歩行能力の早期回復の確保によるADL<sup>\*1</sup>の改善やQOL<sup>\*2</sup>の向上、就労復帰までの期間の短縮に貢献できます。

創造]、「未来に向けた組織能力の進化」の3つの指針を掲げ、低騒音性に優れた物流搬送用ベルト「ミスターポーターズ®」や連結子会社から吸収性骨再生用材料「e=Bone®」（イーボーン）などの付加価値の高い新製品の販売を開始いたしました。また、当社の製品・技術情報をお客様により分かりやすくお伝えする「製品・技術情報サイト」を公開いたしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間は、売上収益53,927百万円

（前年同期比3.3%増）となりました。コア営業利益は3,758百万円（前年同期比3.0%増）、親会社の所有者に帰属する四半期利益は3,671百万円（前年同期比2.9%増）となりました。

当社グループは、気候変動への対応を重要課題の一つとして認識し、「気候関連財務情報開示タスクフォース(TCFD)」の情報開示の枠組みを活用し、リスクと機会の抽出、評価を行い、TCFD提言への賛同を表明するとともに、その提言に基づき、情報開示を行うなど、様々な取り

組みを推進し、EcoVadis社の2023年サステナビリティ評価の総合スコア上位25%以上にあたる「シルバー」の獲得やFTSE Russellが環境・社会・ガバナンス(ESG)対応に優れた日本企業で構成する「FTSE Blossom Japan Index」への選定など、国際的な機関から高く評価されています。今後も持続的な企業価値向上を目指してまいります。

株主の皆様におかれましては、引き続き変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

あわせて、医療関係者および家族の介護負担の軽減、医療費全体のコスト削減への貢献も期待される製品です。

- ※1 ADL: Activities of Daily Living 日常生活動作
- ※2 QOL: Quality of Life 生活の質

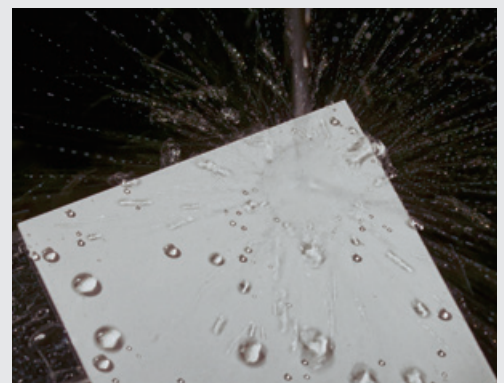


「ウィルティア®シート」を開発し昨年11月にテスト販売を開始しました。本製品は、コンクリート打設時に発生する表面気泡の抑制による耐久性の向上、施工時に汚れが付きにくく繰り返し使用できることによる省資源化に加え、微粘着加工により施工時の作業が容易にできる特長があります。土木工場現場の作業工数低減や省人化に貢献する製品であることがテスト販売以降、多くの引き合いにつながっています。



## 土木工事現場の課題解決に貢献する「ウィルティア®シート」

現在、国内の土木業界では慢性的な人手不足や高齢化といった課題を抱えており、施工品質の維持・向上、環境配慮とともに、施工作业のより一層の効率化が求められています。当社は、そのような課題の解決に貢献すべく、ゴム・エラストマーのコア技術である分散技術をコアとした「複合化技術」を活用し、防汚性能と耐久性に優れたコンクリート型枠用撥水・透水シート





## 株式の状況

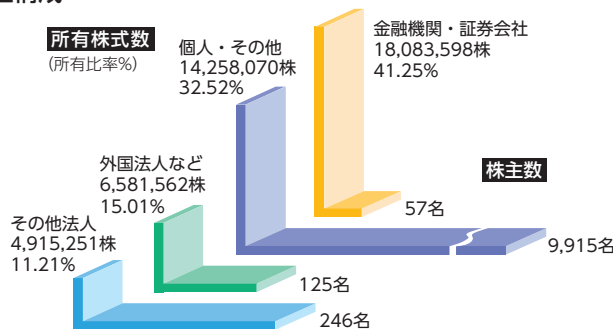
発行可能株式総数	187,000,000株
発行済株式の総数	44,213,536株 (自己株式375,055株を含む。)
株主数	10,344名

## 大株主

大株主名	当社への出資の状況	
	持株数(千株)	出資比率(%)
バンドー共栄会	4,566	10.42
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	4,016	9.16
株式会社三井住友銀行	2,183	4.98
明治安田生命保険相互会社	2,000	4.56
株式会社みずほ銀行	1,800	4.11
株式会社三菱UFJ銀行	1,575	3.59
三菱UFJ信託銀行株式会社	1,401	3.20
日本生命保険相互会社	1,174	2.68
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	1,003	2.29
東京海上日動火災保険株式会社	919	2.10

(注) 1. 出資比率は、自己株式(375,055株)を控除して算出しております。  
2. 上記の出資比率につきましては、小数点第3位を四捨五入して表示しております。

## 株主構成



(注) 所有比率は、自己株式(375,055株)を控除して算出しております。

## 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
期末配当金受領株主確定日	毎年3月31日
中間配当金受領株主確定日	毎年9月30日
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
同連絡先	〒541-8502 大阪市中央区伏見町3丁目6番3号 TEL(通話料無料) 0120-094-777
公告方法	電子公告により行う。 公告掲載URL <a href="https://www.bandogrp.com">https://www.bandogrp.com</a> ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞および神戸新聞に掲載して行う。
上場取引所	東京証券取引所(プライム市場)

## 会社概要

社名	バンドー化学株式会社 Bando Chemical Industries, Ltd.
創業	1906年(明治39年)4月14日
設立	1937年(昭和12年)1月7日
本社事業所	神戸市中央区港島南町4丁目6番6号
ホームページアドレス	<a href="https://www.bandogrp.com">https://www.bandogrp.com</a>

## 役員

## 取締役

取締役会長	吉井満隆
代表取締役社長	植野富夫(社長執行役員)
取締役	柏田真司(専務執行役員)
取締役	染田厚(常務執行役員)
取締役	畑克彦(常務執行役員)
取締役(監査等委員)	中村恭祐(常勤)
社外取締役(監査等委員)	清水春生
社外取締役(監査等委員)	米田小百合
社外取締役(監査等委員)	富田健司

## 執行役員

常務執行役員	永瀬貴行
常務執行役員	松尾聡
常務執行役員	岡田勉
常務執行役員	八木尚史
執行役員	本田裕治
執行役員	野口忠彦
執行役員	川原英昭
執行役員	三木基史
執行役員	橘博之
執行役員	吉田良太

## 〈ご注意〉

- 株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行本支店でもお取り扱いさせていただきます。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

## 個人投資家の皆様を対象としたIRメール配信サービスを行っています。

配信登録をいただいた皆様へ、最新のニュースリリース等、当社IRに関する情報をお知らせしています。メールアドレスをお持ちの方であれば、どなたでも無料で登録いただけますので、ぜひご利用ください。

登録先URL:[https://www.bandogrp.com/ir/news\\_service.html](https://www.bandogrp.com/ir/news_service.html)

右のQRコードをスマートフォン等で読み取っていただいてもアクセス可能です。

※配信は当社の判断に基づいて行います。 ※QRコードは株式会社デンソーウェブの登録商標です。

※株式会社マジカルポケットが提供するメール配信サービスを通じて配信しています。

